

市区長連絡協議会長あつちつ



古河 幹男
(榎ノ本区)

5月19日、市区長連絡協議会の総会で区長の皆さんから承認を受け、昨年に引き続き本年度も会長に就任いたしました。

市は現在も人口が増え続けていますが、同時に地域の高齢化も加速しています。このようななか、課題となっている空き家対策などの安全・安心の地域づくりや突然の災害への対応に向けた取り組みが重要になります。区長という立場は区民の皆さんに寄り添い、最も近くで活動できる重要な立場にあると思います。これからも地域住民同士のつながりを築く活動に力を入れたいと思います。

本年度は合志市が誕生して10年目という節目の年でもあります。これからも気を引き締め、地域住民とともに「住みよいまち」合志市をつく

るといふ役割を自覚し、私たち区長連絡協議会の構成員一同、地域で共に助け合う「共助の精神」をモットーに尽力して参ります。

今後とも合志市区長連絡協議会をよろしくお願ひいたします。

市区長連絡協議会役員

- 会長 古河 幹男(榎ノ本)
- 副会長 荒川 和典(泉ヶ丘)
- 〃 内川 祐輔(杉並台)
- 〃 緒方 博詞(辻久保)
- 理事 吉岡 誠敏(油古閑)
- 〃 川崎 諭(山下団地)
- 〃 齊藤 四郎(ユトリック団地)
- 〃 谷 皓紀(東須屋)
- 〃 高来 正人(黒石原)
- 〃 西野 良昭(南須屋)
- 監事 〃



本年度の総会

素敵な人生 素敵なパートナー



市男女共同参画
推進懇話会委員
坂井 竹志

1月17日に開催した「気づきすぎずフェスティバル」には、たくさんの方の参加をいただきありがとうございました。今回は、その際実施したアンケート結果の一部についてお伝えします。

Q 男女の地位差を感じますか

年度	(H22)	(H26)
男性優遇	83%	↓ 65%
女性優遇	3%	↓ 5%
平等	14%	↓ 30%

平成22年度の値は当時実施した男女共同参画に関する意識調査結果です。

アンケート実施規模が違うため一概に比較できませんが、「平等」と答えた人が倍増している結果を見ると、社会での性別の違いによる地位差が改善されているようです。しかし、フェスティバルでのア

ンケート結果を懇話会で検討したときに、ある委員が「知人が産休明けで仕事に復帰しますと職場に伝えたと、担当者から『子どもがかわいいそうじゃないか?』と言われ、自分はそんなに冷たい人間なのかと悩んでいる」という話をしました。担当者は「子どもさんのために育児休暇を取得しても構いませんよ」という意味で発言したのかもしれませんが、言い方によってまるで反対の意味になるんだな、と考えさせられました。

働く女性を支援するため、市でも待機児童解消を目的に民間保育所の新設などを進めています。施設面を改善すると同時に、一人一人の考え方を尊重した「思いやり」の心を持つて男女共同参画施策の推進を進める必要があると感じました。

本年8月には男女共同参画に関する意識調査が予定されています。今後の男女共同参画施策推進に欠かせない大事な調査になりますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。